

海外の畑作では『Sakura』などの名で、畑作主要国で広く販売されている除草剤アクシーブ。

実は、北海道のコムギ用除草剤でジフルフェニカンとの混合剤の「クタシーブフロアブル」として、国内用でも開発、販売しております。

効能は、スズメノカタビラなどの一年生イネ科雑草に効果が高く、また、コムギ作で問題となる広葉雑草にも安定した効果を示します。

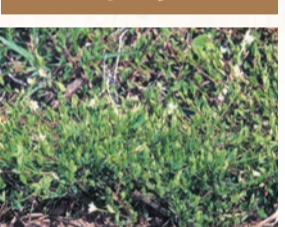
今後、北海道の皆様のお役に立ちたい除草剤です。(北海道限定販売)



# スズメノカタビラに勝つ。



繁茂すると秋播小麦に大きな減収を引き起こす  
**スズメノカタビラ**をはじめ、  
広葉雑草を含むその他の厄介な雑草にも優れた  
効果を示します!



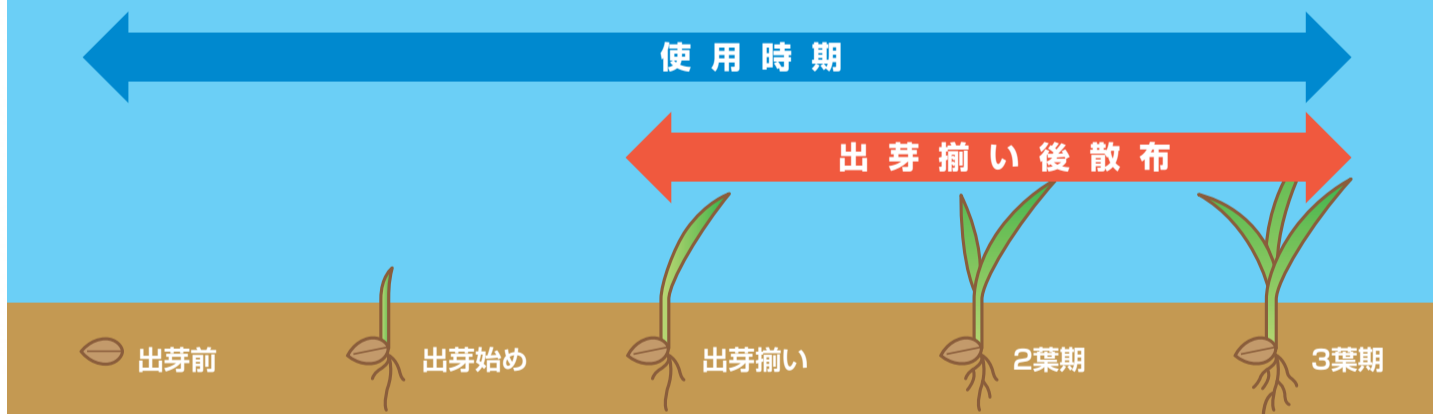
## 適用雑草及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用薬量	希釈水量	本剤の使用回数	使用方法
小麦	一年生雑草	秋播栽培のは種後～ 小麦3葉期 (雑草発生前～発生始期)	80～100mℓ	100ℓ/10a	1回*	雑草莖葉散布 又は全面土壌散布

\*各有効成分を含む農薬の総使用回数：ジフルフェニカン1回、ヒロキサスルホン1回

## 上手な使い方

### 小麦の生長ステージと散布時期



出芽揃い後が特にお勧めの散布時期です。

根雪前まで次々に発生する**雑草対策**と、多量の降雨などによる**薬害回避**のために、小麦出芽揃い後(3葉期まで)の散布をお勧めします。

#### 安全性の向上

出芽前散布での**降雨**などによる**薬害リスク**を軽減し、時間的にも余裕をもった作業が可能

#### 取りこぼした雑草対策

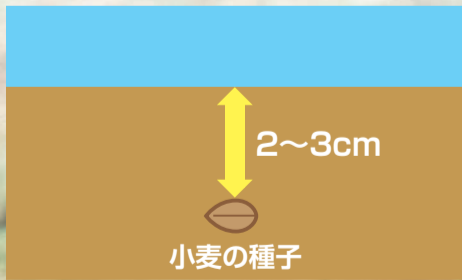
土壌散布では取りこぼしやすい土塊の隙間から発生する雑草に薬剤散布が可能  
クタシーブフロアブルなら少し生育が進んだ雑草にも効果が高く安心!

#### 根雪前まで長期除草

根雪前まで発生する雑草に対し、**出芽後散布**ならその分効果も長続き

## 播種後出芽前散布する場合の注意事項

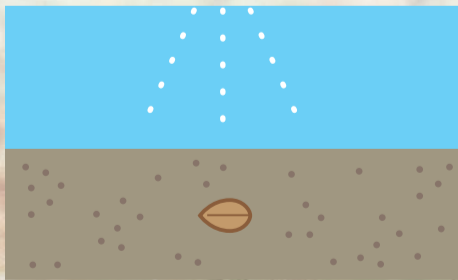
砕土や整地はていねいに、  
覆土深は2～3cmに



散布後に強い降雨が予想  
される場合は使用をさせる



砂質土壌など水はけのよい畑では  
登録の範囲で少なめの薬量を散布



\*薬害が心配される場合は出芽揃い以降(3葉期まで)の散布をおすすめします

### 使用上の注意(抜粋)

- 使用量に合わせて薬液を調整し、使いきってください。
- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にして使用してください。また、希釈の際は所定量の水に加えてから十分攪拌してください。
- 雑草の発生前から発生始期まで有効なので、時期を失ないように散布してください。
- 砂土では使用しないでください。
- 土壌残効が長いので年内中に散布を控えてください。
- 散布直後の多量の降雨は薬害のおそれがあるので、激しい降雨の予想される場合は使用を控えてください。
- 土壌が極端に乾燥している場合には除草効果が劣ることがありますので、土壌が適度の水分を含んでいるときに使用してください。
- 有機物の多い土壌や粘土質の土壌では所定量の範囲内で多めの薬量を散布してください。
- 砂質で水はけのよい畑では薬害を生じるおそれがあるので、所定量の範囲内で少なめの薬量を散布してください。
- 水田裏作の小麦に使用する場合、排水不良田等土壌が湿りすぎていると砕土や覆土が不十分となり効果むらや薬害の原因となることがありますので、適温状態での使用は避けてください。
- 砕土や整地はていねいに、種子が露出しないよう覆土はできるだけ均一、覆土深を2～3cmとしてください。
- 本剤の使用により小麦の葉身に白化が見られることがありますが、その後出てくる葉には白化は認められず回復し、小麦の生育、収量には影響が認められていません。
- 散布薬液の飛散によって有用植物に薬害を生じるおそれがあるので、散布の際には隣接作物にかからないように注意してください。特に風の強い時の使用は避けてください。
- 水稲、大麦、ソルガムに薬害を生じるおそれがあるので、散布した当年または翌年の栽培を避けてください。

- 散布に使った器具類はよく水洗いして、他の用途に使用する時は影響のないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

### 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗いしてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすようにしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いは十分に注意してください。
- 魚毒性等・・・水産動物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。